

稲作だより 墨黒穂病対策編

令和6年9月13日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部
(最上総合支庁農業技術普及課) ☎0233-29-1333

墨黒穂病発生ほ場あり！

玄米に汚損粒がないか要確認！

管内で墨黒穂病による玄米の汚損が確認されています。発病した籾の汚損が籾摺機等に付着すると、健全籾への汚損拡大につながり落等の要因となります。

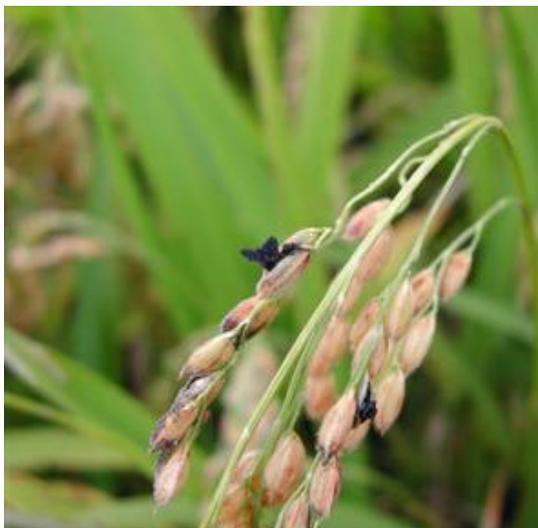


写真1 立毛状態での様子



写真2 胞子が付着した玄米

収穫時の対応

刈取りに入る前に圃場を確認しましょう。写真1のような籾が多発生している場合は刈り分けし、乾燥調製は別にしましょう。また、発生が見られる場合は可能な限り低水分での収穫を行いましょう。

調製作業時の対応

籾摺り時に写真2のように玄米が汚れていないかこまめに確認しましょう。玄米に汚れが付着していた場合は、直ちにロール等の清掃または交換を行い、被害拡大を防ぎましょう。とうみ等を利用した風選は被害籾の除去に有効です。

来年度以降の対策

今年度、墨黒穂病の発生がみられた圃場では、7月下旬（穂孕み後期）に墨黒穂病に登録のある薬剤で防除を実施しましょう。